

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和56年11月24日 第32報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	80		
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Chrysophaerella</i> sp.	40		
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	160		
(珪) <i>Melosira italica</i>	120		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	200		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	80		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	240		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	320	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	40		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	100	4.2	1.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	360	15.0	3.7
(珪) 珪藻綱	840	35.0	16.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.8	0.8
(褐) 褐色鞭毛藻綱	320	13.3	16.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	720	30.0	61.5
(他) その他のプランクトン	40	1.7	0.0
総細胞数	2400	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	3.27E+06
種類数	18		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	320

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。